

2025 年 12 月 28 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 37 号 (通算 3474 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さく^{ひと}されている人を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

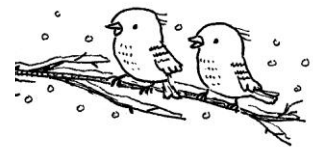
神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書 3:16)



さいまつれいはい

歳末礼拝

こうたんせつだい しゅじつれいはい
(降誕節第1主日礼拝)



《^{れいはい}礼拝はインターネットで^{ちゅうけいはいしん}中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
^{しちやう}ご視聴^{ばしよ}いただけますので、それぞれの^{とも}場所で共に^{れいはい}礼拝をして^{ただ}頂^けけます》

^{ぜんそう}前奏^{もくとう}(黙祷)

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの^{ことば}詞

^{しよ}イザヤ書

^{しやう}49 章 ^{せつ}12-13 節

^{さんびか}賛美歌

^{ねんぱん}1945 年版 410 番「^な鳴れかし^{かね}鐘の音」(©著作権消滅)

^{せいしよ}聖書

^{ふくいんしよ}マタイによる福音書

^{しやう}2 章 ^{せつ}1-12 節

^{いの}お祈り

^{さんびか}賛美歌『^{きやうどうたいさんびかしやう}アイオナ共同体賛美歌集』「^{おさなごしゅ}幼子主イエスに^あ会い」(©JASRAC)

^{たびびと}メッセージ 「^{うしだ}旅人からの^{ただし}プレゼント」

^{ぼくし}牛田 匡 牧師

^{さんびか}賛美歌『^{かいていばん}こどもさんびか改訂版』99 番「^{ばん}ふるいものは^{きやうだんしゅつばんきよく}みな」(©教団出版局)

^{しゅいの}主の祈り 21-62 番「^{ばん}天にいます ^{てん}わたしたちの^{ちち}父」(©讃美歌改訂委員会)

^{たんじやうしゃしゅくふくしき}誕生者祝福式

^{うしだ}牛田 匡 牧師

^{ささげもの}献げ物 (*)

^{はけん}派遣 21-91 番「^{ばん}神の恵み^{かみ}ゆたかに^{めぐ}受け」(1 節のみ) (©JASRAC)

^{しゅくふく}祝福

^{うしだ}牛田 匡 牧師

^{こうそう}後奏 アーメン コーラス (21-40-6 番) (©教団讃美歌委員会)

^{ほうこく}報告 (4 頁をご参照ください)

《^{せき}席にお^{すわ}座りになったままで^{れいはい}礼拝にご^{さんか}参加ください》

* 「^{ささげもの}献げ物 (献金)」は、^{うけつけ}受付にある^{けんきんばこ}献金箱にお^{ささ}献げください。

招きの詞 イザヤ書 49章 12-13節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

¹² 見よ、人々が遠くから来る。

見よ、北からも西からも

また、シニムの地からも来る。

¹³ 天よ、喜び歌え。地よ、喜べ。

山々よ、歓声を上げよ。

主がご自分の民を慰め

その苦しむ者を憐れまれるからだ。



聖書 マタイによる福音書 2章 1-12節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

¹ イエスがヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、東方の^{はかせ}博士たちがエルサレムにやって来て、² 言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちは東方でその方の星を見たので、^{おが} 拝みに来たのです。」³ これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。⁴ 王は祭司長たちや民の律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。⁵ 彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。

⁶ 『ユダの地、ベツレヘムよ

あなたはユダの指導者たちの中で

決して最も小さな者ではない。

あなたから一人の指導者が現れ

私の民イスラエルの牧者となるからである。』」（ミカ書 5：1）



⁷ そこで、ヘロデは博士たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。

⁸ そして、こう言ってベツレヘムへ送り出した。「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。私も行って拝むから。」⁹ 彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに^{おさなご} 幼子がいる場所の上に止まった。¹⁰ 博士たちはその星を見て喜びに^{あふ} 溢れた。¹¹ 家に入ってみると、幼子が母マリアと共に^{にゅうこう} おられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、^{もつやく} 乳香、没薬を贈り物として^{あふ} 献げた。¹² それから、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通して自分の国へ帰って行った。

（脚注 a：別訳「占星術の学者」、b：フランキンセンス、c：ミルラ）

《先週のメッセージより》2025年12月21日 クリスマス礼拝

「クリスマス・プレゼントは誰に」

牛田匡牧師

聖書 創世記1章1-5節、ヨハネによる福音書1章1-5、9、14、18節

クリスマスおめでとうございます。神様がイエス様という最高のプレゼントをくださったクリスマスの喜びを、みんなが笑顔で迎えられるように。またイエス様がその言葉と振る舞いをもって、その生涯を通して隣の人たちと一緒に歩まれたように、このクリスマスの季節に、私たちも自分に与えられたものを周りにおられる方々と一緒に分かち合っていくことで、喜びの輪が広がっていく。クリスマスの時期というのは、そのような素敵な季節だと思います。

金色に輝く天上世界から、救いの糸を垂れる神様を見上げる時、人々は「私を見捨てないでください。私に救いの糸を伸ばしてください」と必死にならざるを得ないと思います。しかし、命の神は、闇のない世界に鎮座しますのではなく、暗闇に閉ざされ希望が見えなくなっている中にこそ、共におられます。赤ちゃんという一番小さな姿で、希望の光が決して闇に飲み込まれてしまわないということを示しておられます。十字架という最も残酷な処刑に遭いながらも、それでも「永遠の命」は絶望には終わらないということ、その死からの引き起こしを通して示された神は、私たちの全ての痛みも苦しみも、共感し、共に担ってくださいています。「クリスマスに家畜小屋に生まれ、十字架に架けられた私には、あなたの痛みも苦しみも、この身をもって知っている」と言ってくれる神の子イエス・キリストが、隣におられ、支え、そして導いてくださっています。そのプレゼント、目の前に既に差し出されている現実、目を向け、神様からのクリスマス・プレゼントを受け取って行きましょう。クリスマス・プレゼントは誰のために用意されているか……。それは闇の中に置かれている人たち、痛みの中に置かれている人たち、華やかなクリスマス・シーズンを迎えられない人たち、お洒落に着飾ってお出かけすることのできない人たち、ごちそうもプレゼントも何も用意できない人たち、そのような人たちのためにこそ、イエス様はクリスマスにお生まれになりました。目に見えない神が人となったクリスマス。最も小さな姿で、小さくされている人たちの隣に、確かに来てくださったクリスマス。「私はあなたと共にいる。あなたの人生には意味がある」と言ってくれるイエス様から、温かい灯を受け取った私たちは、今日もここから、その小さな灯を、隣の人へと届けて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 12月21日 クリスマス礼拝

礼拝出席 大人5人 献金 大人5,000円 中継視聴者数18回 感謝
キッズクリスマス 出席 子ども22人 大人5人

12月25日(木)クリスマスに、日本コイノニア福祉会の3施設(旭丘まぶね保育園、特別養護老人ホーム大阪好意の庭、特別養護老人ホーム第二好意の庭)から、65食のお弁当を作って、釜ヶ崎・いこい食堂にお届けし、諸教会や諸団体、賛同者の方々から集められたお弁当と一緒に、雨天の中、お配りして頂きました。

◎次週 2026年1月4日(日) 新年礼拝(降誕節第2主日礼拝)

招きの詞 詩編 89編 12-13節

聖書 ルカによる福音書 2章41-52節

メッセージ「作られた伝統」牛田匡牧師

賛美歌 1954年版411番(©P.D.)、新生71番(©バプ連)、聖公会476番(©出版局)
礼拝後に、1月期の「教会を考える会」を開催する予定です。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・12月の釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」は休会です。
- ・今年も「クリスマス献金」を集めています。献金先は「関西学院大学神学部後援会」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人神戸国際支縁機構」「生活困窮者支援(釜ヶ崎への毎月のおにぎり支援基金、他)」「関西労働者伝道委員会」「アハリー・アラブ病院を支援する会」「ナルド献金(大阪教区・互助特別献金)」の7団体です。
- ・年明け1月8日(木)9時半~11時半にかけて、いこいの家にて「聖書を読む会」を開催いたします。
- ・年明け1月15日(木)13時20分~15時にかけて、関西学院会館(兵庫県西宮市)にて講演会「当事者研究の誕生」が開催されます。講師は向谷地生良さんです。参加無料ですが、1月9日までに事前申込が必要です。右のチラシをご参照ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2026/1/4	牛田匡牧師	新年礼拝・ユウカリスト教会を考える会
1/11	牛田匡牧師	おにぎり支援
1/18	教会堂での礼拝は休会です (YouTube配信のみ行います)	
1/25	牛田匡牧師	誕生者祝福式 14時~河内地区女性会 (@枚岡教会)

関西学院大学 キリスト教と文化研究センター(RCC)主催講演会

「キリスト教主義教育の可能性と実践—well-beingを共に生きるために」プロジェクト

当事者研究の誕生

—これからのソーシャルワーク実践の新たな地平—

従来のソーシャルワーク実践が「支援する側(専門職)」と「支援される側(クライアント)」の二項構建を前提とする中で、当事者研究は、この構建を根底から問い直し、「援助する/される」関係から、「ともに探究する」関係へと変え、クライアントが自らの「生きることへのリアリティ」に関心を寄せる「研究者」として、主体的かつ協同的に状況を考察し、歴史的、社会的、実存的な文脈の中で理解しようとする発想を提案し、国際的にも関心を呼んでいます。このたびは、当事者研究の源流を辿りながら、これからのソーシャルワーク実践を考える一つの手がかりとなることを願っています。

2026年1月15日(木) 13:20~15:00

関西学院会館 レセプションホール
(西宮市上ケ原一丁目1-155)

要申込
無料

講師 向谷地 生良氏

1978年より北海道日高の総合病院精神科ソーシャルワーカーとして勤務。1984年、「浦河べてるの家」を設立し2003年より北海道医療大学教員、2021年に名誉教授、社会福祉法人浦河べてるの家理事長に就任。

●著書「べてるの家の非援助論」「技法以前」(医学書院)・「べてるの家から吹く風」(いのちのことは社)他多数

申し込み方法 2026年1月9日(金)までにホームページの申込フォームもしくはお電話にてお申込みください。

お問い合わせ 関西学院大学 キリスト教と文化研究センター(RCC)
TEL.0798-54-6019

